

星輝子「呪いの館には、
行っちやいけないんだ
ぜえええええ！！！！」

果糖 量多

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

アイマスと筋肉少女帯は昔から合うとされていましたが、上手くミックス？できたかな？

目次

星輝子「呪いの館には、行っちゃいけない

んだぜええええ!!!」

1

星輝子「呪いの館には、行っちゃいけないんだぜええええ
!!!」

輿水幸子「とととついうわけで、カッカイイボクと仲間たちが心霊ロケにやつて
きましたよう」

白坂小梅「… 幸子ちゃん… 声… … 震えてるよ… ?」

脇山珠美「いやあ、輝子殿は『ガナリ』? が上手いですなあ!」

浜口あやめ「幸子殿も流れるように状況説明を… ! 流石です!」

幸子「フフーン、バラエティ番組で鍛えられましたからね」

輝子「… それで… この館で… 私たちは何をすればいいんだ… ?」

小梅「… プロデューサーさんは… 入れば分かるって」

珠美「とりあえず、中に入ってみましょう!」ギイイイ

あやめ「おお… なかなか雰囲気がありますね」

珠美「うう… 暗いです」

輝子「何か張り紙がある… な… … 読んでみるぞ… えつと… … 『マタンゴと

いうキノコは人に寄生いたします。寄生された者はキノコ人間となって、人を見つける

と仲間を増やすべく襲いかかってくるでしょう。マタンゴに見つかからないよう、無事にこの館から脱出しよう!!』… だって」

小梅「パニックホラーの定番みたいなシチュエーション… だね」

幸子「なんでもいいから、こんな薄気味悪いところから早く出たいですね…」ボタン
幸子&珠美「キヤーーー!!!」

輝子「… 急にドアが閉まったな…」

あやめ「どうしたんですか？ 珠美殿？ ロケバスでは絶対に怖がらない、と自信満々に言っていたではないですか？」

珠美「ちよつ、ちよつと驚いただけです!!」

輝子「幸子ちゃん… 大丈夫… か？」

幸子「… ハツ!? えつ、ええ、どうかしましたか？ ちよつとボク、まばたきしてて何が起こったのか覚えてなかったの」

輝子「… それは、一瞬気を失ったってことじゃないのか…？」

あやめ「それはそうと、小梅殿。先ほどから何処を眺めているのですか？」

小梅「… うわー… スゴい… よ! あやめちゃん… アレが… マタンゴ…
だよ」

珠美「小梅殿おお!! そんな冷静に眺めてないで早く教えてください!!!」

輝子「だいぶ近い……な………というか、待つてくれてたみたいだ……」

幸子「キユウ

あやめ「幸子殿、気を確かに！さあ、早く逃げましょう！！捕まると不味いみたいですし！！」

小梅「……マタンゴになりかけてるところも……見てみたいな……」クギツケー

輝子「……よくみると……キノコの特長を上手くとらえてる……ぜ」クギツケー

あやめ「二人とも、動いてー！！」

珠美「（近くにあったモップをとりー）……ここは、珠美が引き付けておきます！その隙にあやめ殿はみんなを連れて逃げてくたさいっ！！」

あやめ「珠美殿！かたじけないっ！！」ダダダ

数時間後

幸子「ハアハア、この館、仕掛けが多過ぎますよ！」

あやめ「肖像画の並び替えに、血塗られた鍵盤の謎、金庫の番号などを解いて、ようやく大広間の鍵が手に入りましたね」

輝子「うん………すぐ………大変だったな……」

小梅「……じゃあ………開ける………ね」ガチャリンコ

幸子「これはまた……だだっ広いですねえ」

あやめ「これまでの部屋とは違って、家具も何もありませんね」

小梅「そうだね……特に目立ったギミックも……ないみたい……」ゾロゾロ

輝子「……ん?……ゾロ……ゾロ?」ウシロフリムキー

幸子「うわああ!!!珠美さんに、キノコ人間が、いっぱい!!!」

あやめ「ぷっ、珠美殿。そのキノコの被り物は何ですか?」

小梅「珠美ちゃん……かわいい………マタンゴの皆さんの………すぐくリアルで……

かつこいい……です……」

輝子「………ん?なんだ、カメラさん?……これを言えば………いいのか?」ペラッ

輝子「フヒツ……それを被つてると………たまみちゃん………背が小さいのが………目

立たなくなるから………いいねえ……」

珠美「よくないっ!!!」

あやめ「珠美殿、申し訳ないですが、これ以上犠牲者を出すわけにはいかないでござ

るっ!御免っ!!」ニン

珠美「ふんっ!!変な被り物をしていたとしても、この珠美、そう簡単にやられるわけ

にはいきませんっ!!」ブンッ!

あやめ「おっ、やりますねえ………一度、珠美殿とは本気で戦ってみたいと思っていた

のですよ……」

珠美「では、真剣勝負といきましょう!!」

マタンゴたち「「タマミ! タマミ!」」

輝子「……なんだが、熱い展開……だな………盛り上がってきたぜええええ!!!」

小梅「……あやめちゃんも……がんばれー!………あの子も応援してるって……」

幸子「ヒイイイイイイ!!! もうこんなところにはいられませんっ!! どこかボクを連れて
いってくださいイイイイイ!!!」

輝子「いいぜえ!!! 遠く! 高く!! 放り投げてやるぜえええ!!! ヒイイイイヤッツツハア

アアア!!!」

おわれ